

## 目次

二〇一八年第三十二回全国大会公開講演論文

言語と言語以前のもの…………… 中島義道…………… 5

― ショーペンハウアーの意志Ⅱ物自体をめぐる

ワークシヨッフ（哲学カフェ）

「主著発刊二〇〇周年記念企画――『意志と表象としての世界』を読む、読む、語り合う――」報告…………… 高橋陽一郎…………… 20

論文

ショーペンハウアーの哲学理解…………… 鎌田康男…………… 29

「大いなる神秘」としての世界…………… 堤田泰成…………… 45

― ベーメとショーペンハウアーの世界創造論

翻訳（連載）

ショーペンハウアー『初期遺稿集』（十）……………

共訳Ⅱ西章、シュタイナー堀郁、鳥越覚生、林由貴子、堤田泰成、太田匡洋…………… 61

論文

ニーチェの「ホメロス問題」……………東谷優希……………81

未来への同情……………井西弘樹……………97

―ニーチェによる同情の肯定

「高貴 *vornehm*」とは何か？……………谷山弘太……………113

―ニーチェ哲学における「人間の自己超克」と「良心」

研究ノート

道徳における自然な快楽の形成……………大山真樹……………130

―生きることに對する価値創造の利害

翻訳

フリードリッヒ・ニーチェ 遺稿『ショーペンハウアーについて』……………

上智大学ショーペンハウアー研究会

(赤塚愛・荒木和明・江藤信暁・堤田泰成・中山結) 訳……………